パリイベント東北復幸祭〈環WA〉まで残り半年！

OECD東北スクール報告

福島大学　三浦浩喜

（OECD東北スクール統括責任者）

福島大学 Fukushima University

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

OECD BETTER POLICIES FOR BETTER LIVES

OECD東北スクールの活動

●**集中スクール**……5回の集中ワークショップ（約1週間）を開催し、多彩な講師による体験活動や熟議を行う

●**地域スクール**……各地域ごとに各地の状況に応じて、若者からの地域復興を企画・実行する地域スクールを行う

●**テーマ別活動**……パリでのイベントを成功させるために「シナリオ」「産官学連携」「コミュニケーション・PR」「セルフドキュメンタリー」の各活動を行う

プロジェクト学習のゴール

2014年8月、パリで東北の魅力をアピールするためのイベント東北復幸祭〈環WA〉を自ら企画・実行

開催期日：2014年8月30・31日
開催場所：シャン・ド・マルス公園
（同9月2日にはOECD本部中庭にて桜の植樹、同日午後には大人・生徒熟議を開催）

イベントは通過点。最終ゴールは、一連の活動をとおして、地域・日本・世界のために動けるイノベーターとなること

巨大ドミノの実験
2013年12月25-27日
公開リハーサルinいわき

女川「さんまdeサンバ」
フラッシュモブ

ブース展示のシミュレーション

南三陸・戸倉地区の鹿子躍

開催場所のレイアウト検討

企画のフレームと会場レイアウト案

パリ シャン・ド・マルス公園

■巨大バルーン
◆「死と再生～未来へとつなぐ」
象徴として津波の高さの巨大バルーンを掲出

■ドミノパフォーマンス
◆死と再生、復興を表すドミノパフォーマンス

■天旗（連凧）
◆来場者の凧揚げ体験スペース

■大型映像
◆セルフドキュメンタリーの放映

イメージパース

■ 企業・団体の出展ブース
◆出展者を募集

■レストランブース
◆出展者を募集

■ 関連団体ブース
◆福島大学によるテーマ展示
◆関係機関等による出展

■ OEDC東北スクールブース
◆各地域1ブースを出展（9ブース）

■ステージ
■語り
■さんまdeサンバ
■鹿子躍
■野馬追

■100人メッセージ
◆参加100人の写真と文書をコラージュ
◆「環」を表現し、巨大な円形に設置

第16回 OECD/Japanセミナー

16th OECD/Japan Seminar
Key Competencies and Skills for the 21st Century

キーコンピテンシー／21世紀スキル

「キーコンピテンシー／21世紀スキル」に焦点をあて、OECD生徒の学習到達度調査（PISA）2012の結果を踏まえた分析や、宮城教育大学における持続可能な開発のための教育（ESD）に関する活動、福島大学がOECDの協力を得て進めている復興教育の試みの紹介を通じ、OECDの最新の分析と教育現場での実践の両面から議論を行います。

日時 平成26年 **2月9日㈰**

場所 **仙台国際センター**
〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山

プログラム（予定）

10:30－10:40 主催者挨拶

10:40－12:00 基調講演
- 21世紀スキル－PISA2012から－
  OECD教育・スキル局次長 アンドレアス・シュライヒャー
- 日本の教育
  文部科学省

昼休憩

13:30－15:00 講　演
- ESDとキーコンピテンシー
  宮城教育大学教授 見上 一幸
- OECD東北スクールの実践について
  福島大学教授 三浦 浩喜
- 21世紀スキルの展開－東北における実践から得られるもの－
  エトヴェシュ・ロラーンド大学教授 ガボー・ハラス

15:20－16:50 パネルディスカッション

OECD教育・スキル局次長 **アンドレアス・シュライヒャー**

2010年～：OECD事務総長教育政策特別顧問
2012年～：OECD教育・スキル局次長（2013年に教育局から教育・スキル局に改称）

宮城教育大学教授 **見上 一幸**

1994年～：宮城教育大学 教授
2012年～：宮城教育大学長

福島大学教授 **三浦 浩喜**

2006年～：福島大学人間発達文化学類 教授

エトヴェシュ・ロラーンド大学教授 **ガボー・ハラス**

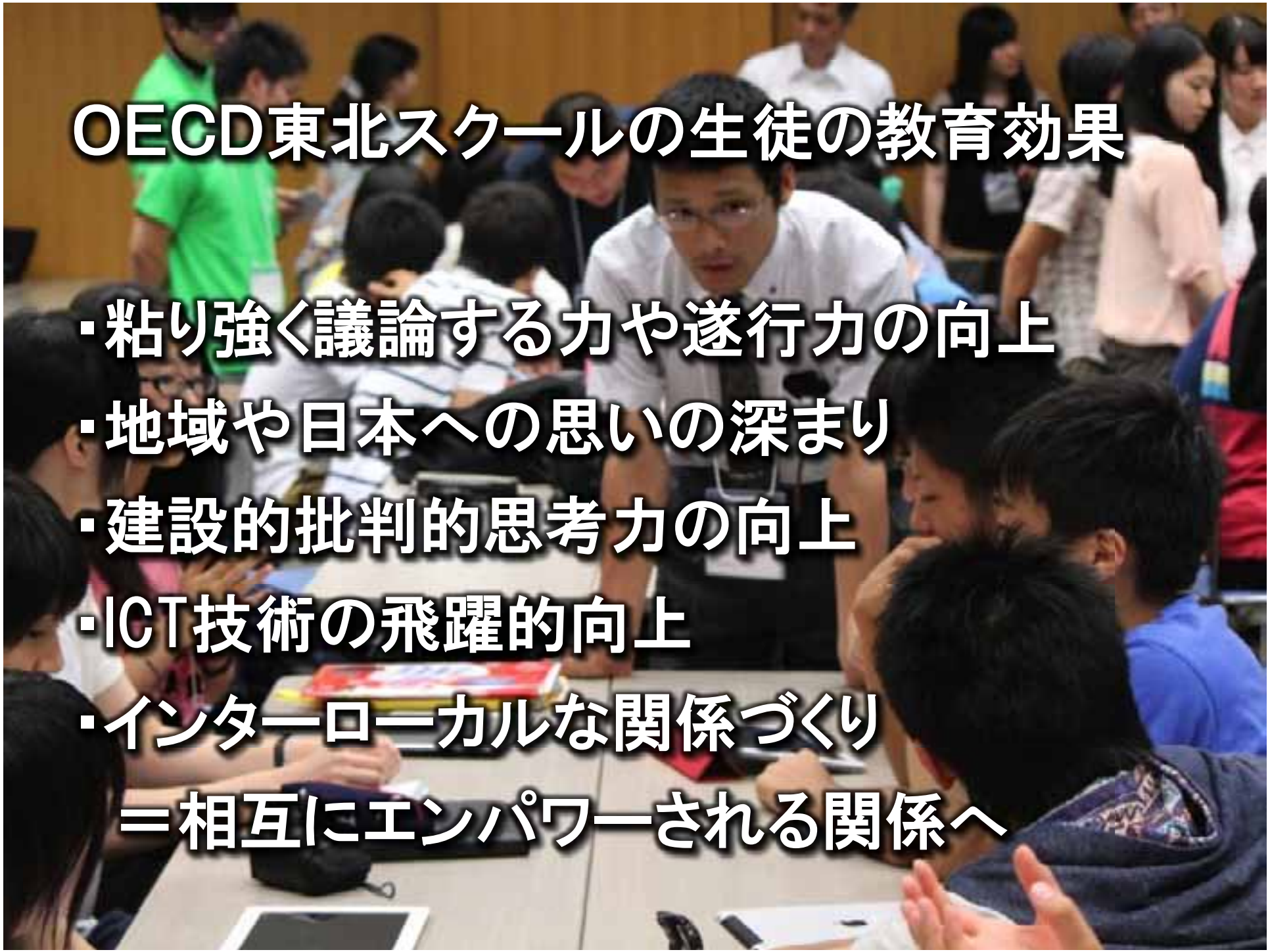
2006年～：国立公教育研究所（ハンガリー）学術顧問
2007年～：エトヴェシュ・ロラーンド大学教育・心理学部教授（教育学）、シニア・リサーチフェロー

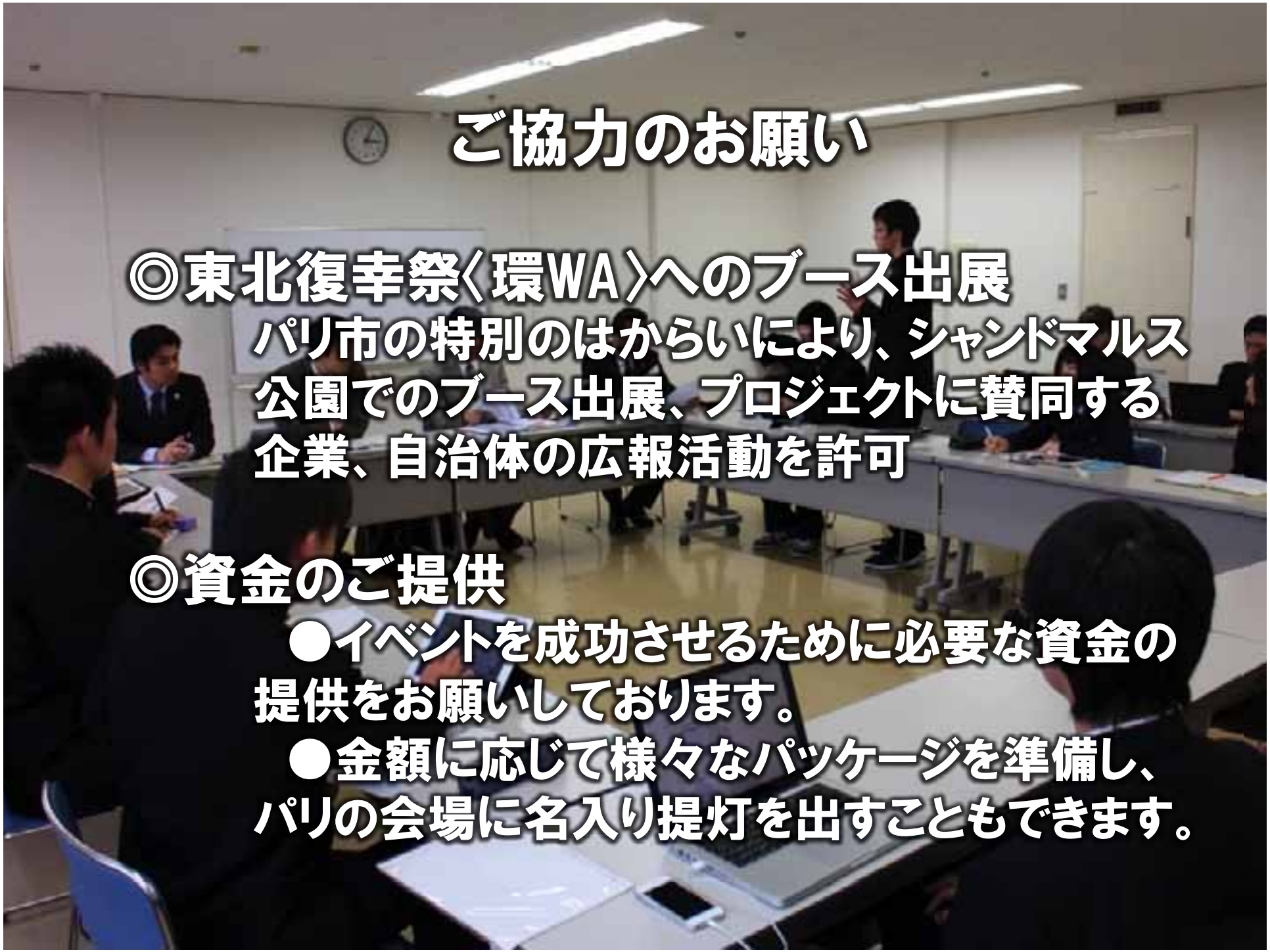
東北スクールで・・・

- 「津波にのまれた過去を乗り越えて、この体験を情報としてみんなに話し、それに前向きに考えて行動することができた」
- 「自分で疑問点を探して、質問することができた」

日常の学校で・・・

- 「前は気の強い友達がいたらその人に話を合わせていたけれど、今は自分の思っていることを伝えられるようになった」


OECD東北スクールの生徒の教育効果
・粘り強く議論する力や遂行力の向上
・地域や日本への思いの深まり
・建設的批判的思考力の向上
・ICT技術の飛躍的向上
・インターローカルな関係づくり
＝相互にエンパワーされる関係へ



ご協力のお願い

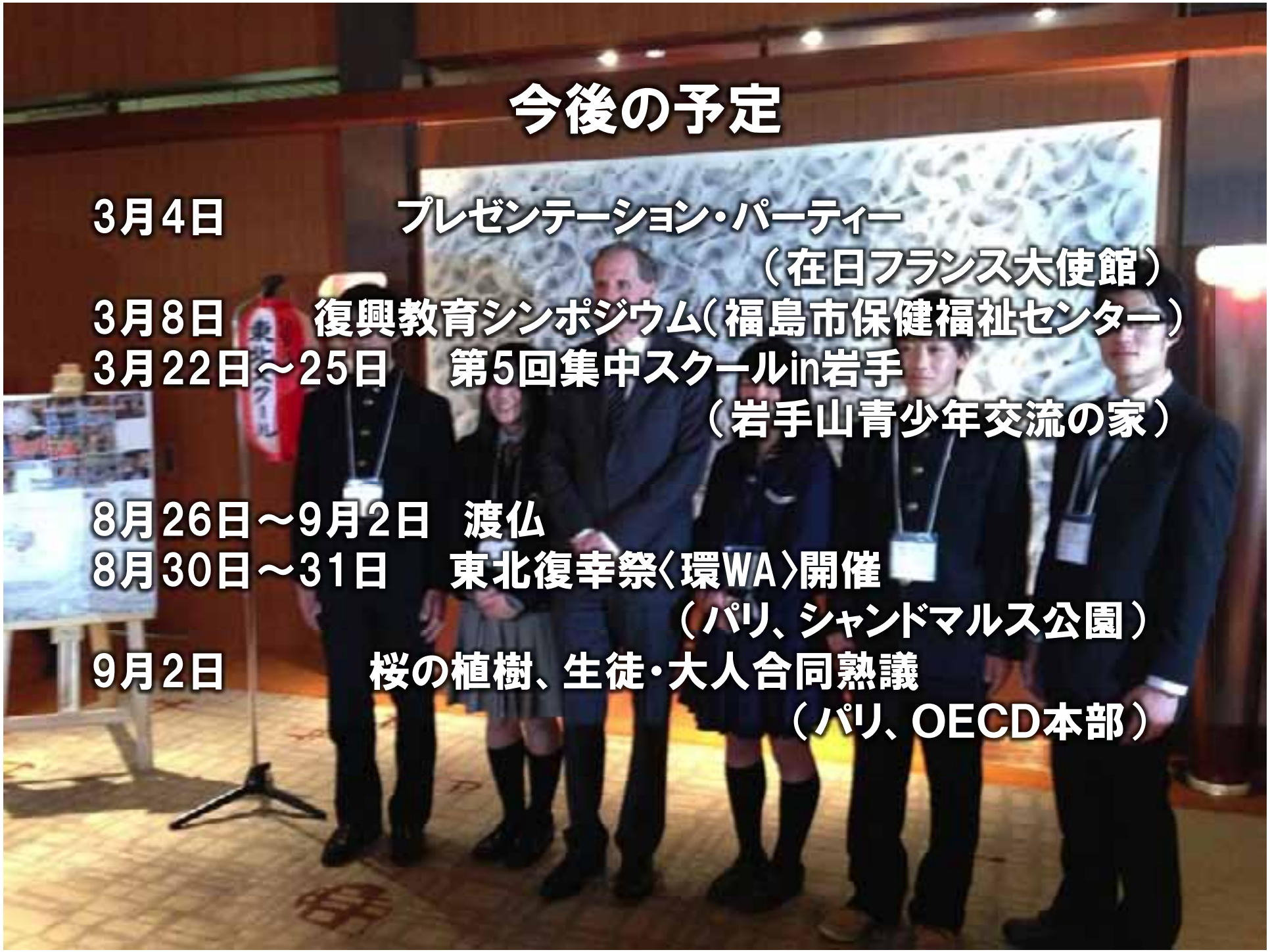
◎東北復幸祭〈環WA〉へのブース出展

パリ市の特別のはからいにより、シャンドマルス公園でのブース出展、プロジェクトに賛同する企業、自治体の広報活動を許可

◎資金のご提供

●イベントを成功させるために必要な資金の提供をお願いしております。

●金額に応じて様々なパッケージを準備し、パリの会場に名入り提灯を出すこともできます。



今後の予定

3月4日　　プレゼンテーション・パーティー
（在日フランス大使館）

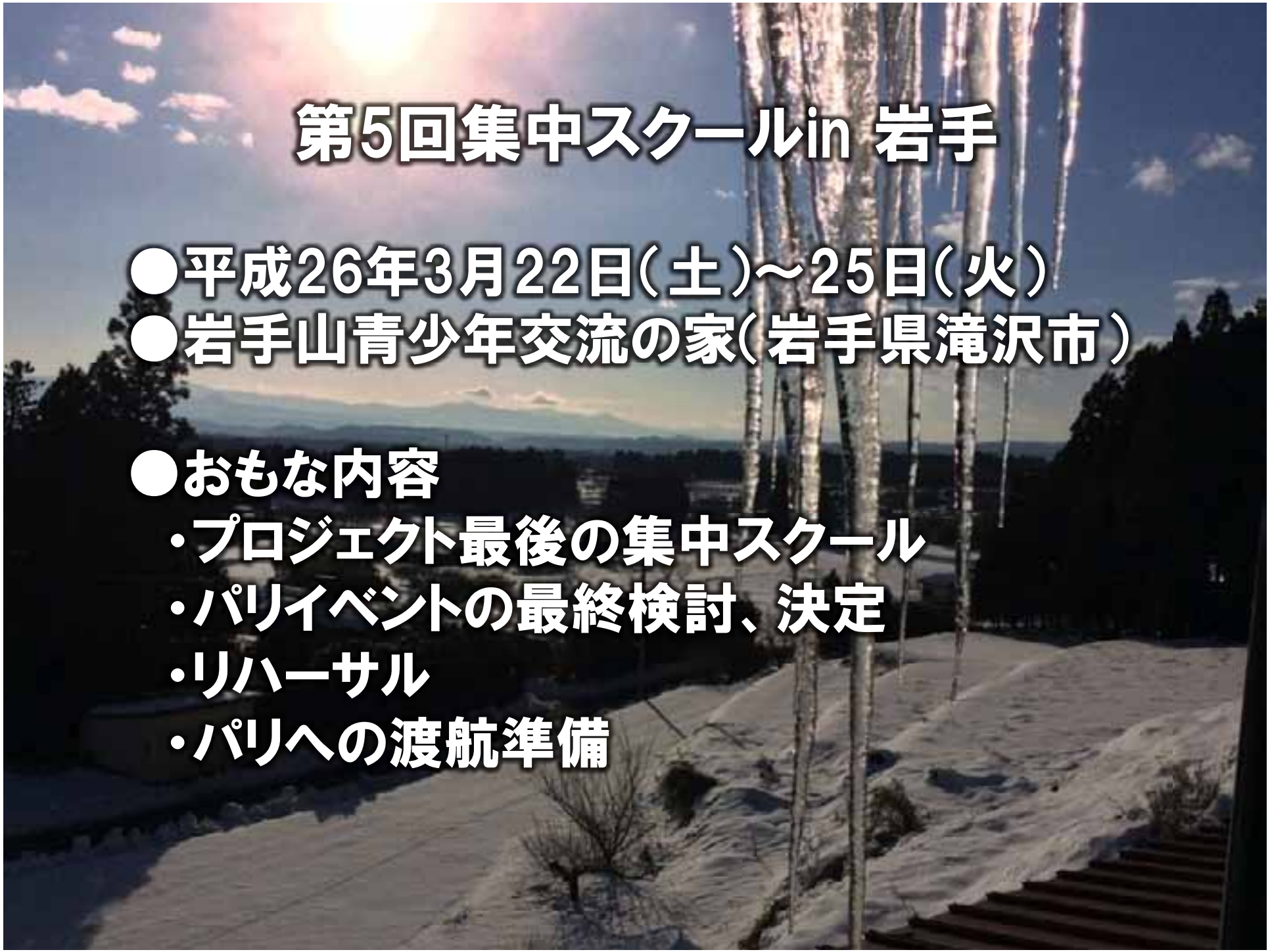
3月8日　復興教育シンポジウム（福島市保健福祉センター）

3月22日～25日　第5回集中スクールin岩手
（岩手山青少年交流の家）

8月26日～9月2日　渡仏

8月30日～31日　東北復幸祭〈環WA〉開催
（パリ、シャンドマルス公園）

9月2日　　桜の植樹、生徒・大人合同熟議
（パリ、OECD本部）



第5回集中スクールin 岩手

●平成26年3月22日(土)～25日(火)
●岩手山青少年交流の家(岩手県滝沢市)

●おもな内容
・プロジェクト最後の集中スクール
・パリイベントの最終検討、決定
・リハーサル
・パリへの渡航準備